

# 1 学びの県づくり

1-1 生きる力と創造力を育む教育の推進	1 未来を切り拓く確かな学力の育成 2 豊かな心と健やかな身体の育成 3 すべての子どもの学びの保障
1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	1 地域と学校が連携した教育の推進 2 教員と児童生徒が向き合うための環境整備
1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり	1 県内高等教育機関の魅力向上 2 県内高等教育機関を核とした地域づくり
1-4 生涯を通じて学べる環境の整備	1 生涯を通じて学べる環境の整備

# 1 学びの県づくり

## めざす姿

子どもから大人まですべての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を社会の中で発揮している「学びの県」をめざします。



## 1-1 生きる力と創造力を育む教育の推進

変化の激しい時代において、子どもたちがたくましく生き、創造性を発揮できるよう、必要な力を身につけられる教育環境を整備します。

### (未来を切り拓く確かな学力の育成)

「全国学力・学習状況調査」によると、本県小中学生の学力は概ね全国平均並みですが、産業構造の変革やグローバル化が急速に進展する時代においては、基礎的な知識や技能に加え、それを活用する力やコミュニケーション力など、自ら未来を切り拓いていく力が必要です。

このため、知識や技能の習得とともに、子どもたちが自己を確立し世界で活躍できる力を身につけられるよう、主体性や創造力を育むことができる教育環境を整備します。

#### ◆主な施策

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善などにより、それぞれの子どもの得意分野を大きく伸ばす教育を展開
- 全ての児童生徒が「わかる、できる」を実感できる信州型ユニバーサルデザインに基づく授業\*を実践
- 小中学校への超高速通信回線の整備など、時代に即したICT\*教育を行うための環境を整備
- 高校改革により、魅力的な学びの場づくりと信州創生を担う資質・能力を育成する学びを推進
- 県立高校において、スーパーグローバルハイスクール(SGH)\*や海外留学の促進等により世界につながる力を育成するとともに、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)\*などの理数・科学教育により地域や世界に貢献する力を育成
- スタートカリキュラム\*による幼保小接続や小中・中高連携の好事例の普及等により、連続性のある教育体制を構築
- 主体性と創造力を育む課題解決型の学びを実践する教員を養成
- 英語コミュニケーション能力向上のため、外国語指導助手を交えた実践的な英語教育を充実
- 国際性やスポーツ教育への特化など、特色のある学びの場の誘致・設置により多様な教育を提供

### (豊かな心と健やかな身体の育成)

急激な社会の変化に適応し、たくましく生き抜く力を身につけるためには、確かな学力を育むとともに、豊かな心とそれを支える健やかな身体を養うことが重要です。

このため、幼少期からの自然体験や運動体験をはじめとした様々な体験の積み重ねや、健康的な食生活を身につけられる食育などを進めます。

### ◆主な施策

- 豊かな自然環境を活かした信州やまほいく（信州型自然保育）\*や地域の中での体験活動など、生涯にわたる学びの礎を築く幼児教育・保育を充実
- すべての就学前児童に質の高い幼児教育・保育を提供するために必要な、幼稚園教諭・保育士等への支援を行う幼児教育支援センター（仮称）の設置を検討
- 長野県版運動プログラム\*による幼児期からの運動の習慣化を通じた体力づくりや、健康教育や食育を通じた健康づくりを推進
- 自然災害や事件・事故の危険を回避し安全に行動する力を身につける教育を推進

### （すべての子どもの学びの保障）

困難を抱えた子どもたちが、その困難のために未来が左右されてしまうことがないよう、適切な支援を行うことが求められています。  
このため、すべての子どもたちが共に成長し活躍できるよう、多様性を認めて活かしながら教育、いじめを許さない学校づくり、経済的困難を抱える児童生徒の学習機会の確保等に取り組みます。

### ◆主な施策

- 発達障がい等があり支援が必要な児童生徒が、通常の学級を基盤に必要なに応じて適切な支援を受けられる通級指導教室等を整備
- 発達障がい等があり支援が必要な児童生徒の潜在的な能力を発見・伸長し、自信や自尊心を育む支援を実施
- 日本語指導を行う教員や相談員の配置や教員への研修等を通じた外国籍児童生徒への教育支援を充実
- 子どもたちが、自分の大切さとともに、他者の大切さを認める人権感覚の育成と人権尊重意識の向上を図るための人権教育を推進
- いじめや不登校などの悩みを抱える子どもや保護者に対し、教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが連携して支援するチームとしての学校を充実
- 学校生活相談センターや子ども支援センター等において、いじめや不登校など様々な悩みに関する相談を受け付け
- 経済的困難を抱えながらも学ぶ意欲や能力が高い大学生等を、県の電気事業の利益や企業の寄付金等を活用して支援

### （参考）関連する個別計画

第3次長野県教育振興基本計画（策定中）、長野県子ども・若者支援総合計画（策定中）、長野県特別支援教育推進計画（策定中）、長野県スポーツ推進計画（策定中）

## 1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり

学校・家庭・地域の連携・協働によって、地域が人を育て人が地域をつくる好循環を実現し、すべての子どもが楽しく前向きに学校生活を送ることができる環境づくりを進めます。

### (地域と学校が連携した教育の推進)

子どもたちが自分の住む地域に対する愛着や誇りを持って成長していくためには、子どもたちと地域社会の様々な関わりが重要です。

このため、保護者や地域住民等が学校と連携・協働し、それぞれが持つ特性を活かして子どもたちの学びや成長を支援する取組の普及と充実を図ります。

#### ◆主な施策

- 学校と地域との協働活動により、子どもたちの成長や地域の活性化を図る信州型コミュニティスクール\*を充実
- 長野県の風土を活かした、自然の不思議さやすばらしさを実感できる自然教育・野外教育等を推進
- 生まれ育った地域の文化、産業、自然等との関わりの中で探究を深める信州学\*を推進
- いじめや不登校などの悩みを抱える子どもや保護者に対し、教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが連携して支援するチームとしての学校を充実
- 「信州こどもカフェ」などの学習支援、食事提供、悩み相談等の複数の機能・役割を持ち、家庭機能を補完する一場所多役の子どもの居場所づくりを促進
- 専門高校におけるデュアルシステム\*の導入・拡大や、義務教育段階から地域の企業を知る機会の提供など地域や企業と連携した産業教育を推進

### (教員と児童生徒が向き合うための環境整備)

近年、学校はそれぞれが取り組む重点的な課題等について、保護者や地域に対して説明責任を果たすことが求められるようになるとともに、急速に変化する社会に対応した教育や特別な配慮を要する児童生徒への対応など、教員が担う業務が増え続けています。

このため、学校における働き方改革推進のための基本方針に基づく具体的な取組を促進し、教員が質の高い授業づくりや児童生徒の指導に専念できる環境の整備を推進します。

#### ◆主な施策

- 各校での校務処理の手法を電子化・共通化する効率的な作業環境を整備
- 専門スタッフ等の活用により、教員が授業や生徒指導などの本来業務に注力できる体制の整備を検討
- 部活動の指導を校外の経験者等が行う仕組みを検討
- キャリアステージに応じた研修体系の構築により教員の指導力や社会性等を向上

#### (参考) 関連する個別計画

第3次長野県教育振興基本計画（策定中）

## 1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり

県内の高等教育の魅力を高めるとともに、地域の知の拠点として高等教育機関\*が持つ資源を活かした地域づくりを推進します。

### (県内高等教育機関の魅力向上)

県内大学の収容力が全国で最低水準であり、県内の大学進学者の多くが県外へ進学しています。また、県内大学の卒業生の約4割が県外に就職しており、若い世代の人口流出の要因となっています。

このため、信州高等教育支援センターが中心となり、県内高等教育機関の魅力を高め、県内外へ発信するとともに、産学官連携による人材の育成・定着を推進することで、「郷学郷就」の県づくりを進めます。

#### ◆主な施策

- 既存大学における学部・学科の再編・新規設置等の大学改革や教育・研究の充実に取り組む県内大学等を支援
- 市町村と連携した東京圏の大学のサテライトキャンパス\*等を誘致
- 長野県立大学が行う豊かな教養教育、実践重視の専門教育、寮生活や海外研修などの全人教育によりグローバルな視野を持ち地域に貢献するリーダー育成への支援
- 県内学生の海外派遣への支援や留学生の受け入れの拡充などにより、グローバルな視点を持った人材育成を促進
- 県内企業でのインターンシップの促進し、人材育成・定着を支援
- 中学生・高校生の進学意欲や学習水準の向上のため、県内高等教育機関の教員による出張講義や高校生の大学院での研究体験を実施
- 時代の変化に応じた人材育成を促進する工科短期大学校、技術専門校の学科・カリキュラム等の見直し
- 農業大学校や林業大学校における更なる実践教育や他の教育機関との連携により、意欲や専門的な技能を持つ農林業人材を育成
- 県立看護大学において、医療の高度化・多様化に対応できる、高い専門性を身に付けた看護職員を養成・確保
- 経済的困難を抱えながらも学ぶ意欲や能力が高い大学生等を、県の電気事業の利益や企業の寄付金等を活用して支援

### (県内高等教育機関を核とした地域づくり)

県内高等教育機関が持っている知的・人的資源を地域や社会の課題解決に活用することは、より実践的な教育や研究、地域の活性化に寄与するとともに、学生が地域への理解を深めることにつながり、県内への人口定着の契機となるものと期待されます。

このため、県内高等教育機関と地域の企業や研究機関、自治体等が連携した学びの場の提供や地域づくりを推進します。

#### ◆主な施策

- コーディネート機能の充実による県内高等教育機関と企業・地域等との連携を支援
- 県内高等教育機関を核とした地域産業の競争力の強化や起業の創出、次世代産業の育成、地域課題解決等への支援体制を構築
- 地域との連携によるソーシャル・イノベーションの\*創出など、長野県立大学における知

- の拠点としての取組を支援
- 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）\*」を県内大学と連携して推進

**（参考）関連する個別計画**

長野県高等教育振興基本方針、長野県子ども・若者支援総合計画（策定中）、第3期長野県食と農業農村振興計画（策定中）



## 1-4 生涯を通じて学べる環境の整備

誰もが生涯にわたって学ぶ楽しみ・喜びを感じ、変化の大きな時代を生き抜く創造力を身に付けるため、主体的な学びやコミュニティの学び合いを支援します。

人生100年時代の多様な働き方や生き方を見据え、人生のあらゆる場面で必要な学びや学び直しに取り組むことができる環境を作り、子どもから大人まですべての世代の誰もが必要な情報を手にすることができる仕組みが必要です。

このため、学びをサポートする人材の育成や地域における学びの場の整備を進めるとともに、ICT\*の活用により、生涯を通じた主体的な学びを活性化する学びの環境づくりを進めます。

### ◆主な施策

- 長野県に関する記憶や記録を蓄積し、誰もが使えるデータベース等を整備
- 知識・技能・意欲などを有する人と人とをつなぎ、地域課題の解決等の取組をコーディネートするなど主導的な役割を担える人材を育成
- 図書館や公民館を活用し、多様な価値観を持つ人々が集まり、影響し合い、新しい社会的価値を創ることができる場や機会を提供
- 図書館・美術館・博物館・学校などの地域における学びの場や、ICTを活用した学びのネットワークの構築を検討
- 消費者大学（仮称）・ウィメンズカレッジ・信州環境カレッジ（仮称）等により経済・社会・環境の課題を学ぶESD（持続可能な開発のための教育）\*を通じて、持続可能な社会を支える人材を育成
- シニア大学の運営や信州ねんりんピックの開催など高齢者の活躍の場を広げる取組を支援

### （参考）関連する個別計画

第3次長野県教育振興基本計画（策定中）、第四次長野県環境基本計画（策定中）

## 【達成目標】

指 標 名	現 状	目 標	備 考
県内の児童のうち、算数の正答率が全国上位4分の1に含まれる者の割合（小6） 全国学力・学習状況調査（文部科学省）	算数A 24.2% 算数B 24.2% （2017年度）		県内の小学6年の児童のうち、算数の正答率が全国の上位25%（下位25%）の層に含まれる者の割合
県内の児童のうち、算数の正答率が全国下位4分の1に含まれる者の割合（小6） 全国学力・学習状況調査（文部科学省）	算数A 25.6% 算数B 24.4% （2017年度）		
県内の生徒のうち、数学の正答率が全国上位4分の1に含まれる者の割合（中3） 全国学力・学習状況調査（文部科学省）	数学A 23.2% 数学B 24.4% （2017年度）		県内の中学3年の生徒のうち、数学の正答率が全国の上位25%（下位25%）の層に含まれる者の割合
県内の生徒のうち、数学の正答率が全国上位4分の1に含まれる者の割合（中3） 全国学力・学習状況調査（文部科学省）	数学A 25.0% 数学B 25.1% （2017年度）		
「将来の夢や目標を持っている」と答える児童生徒の割合 全国学力・学習状況調査（文部科学省）	78.8% （2017年度）		「将来の夢や目標を持っている」との回答を集計
「授業がよく分かる」と答える児童生徒の割合 全国学力・学習状況調査（文部科学省）	74.8% （2016年度）		「授業がよく分かる」との回答を集計
新たに不登校となった児童生徒在籍比 長期欠席児童生徒の状況報告書（教育委員会調）	0.59% （2016年度）		前年度調査以降に新たに不登校となった児童生徒の割合
地域の行事に参加する児童の割合（小学校） 全国学力・学習状況調査（文部科学省）	87.8% （2017年度）		「地域の行事に参加する」との回答を集計
地域の行事に参加する生徒の割合（中学校） 全国学力・学習状況調査（文部科学省）	63.2% （2017年度）		
県内大学の収容力 学校基本調査（文部科学省）	16.5% （2016年度）		県内18歳人口に占める県内大学入学者数の割合
市町村公民館における学級・講座数（人口千人当たり） （教育委員会事務局調）	4.3件/千人 （2014年度）		人口千人当たりの市町村公民館で活用して行われる学級・講座数